

1. 件 名：試験済照射燃料等の保管管理に関する情報交換
2. 日 時：令和4年9月28日(水) 13時30分～14時30分
3. 場 所：web会議
4. 出席者

原子力規制庁長官官房技術基盤グループ
システム安全研究部門

北野上席技術研究調査官、福田技術研究調査官、秋山技術参与
日本核燃料開発株式会社：5名

5. 要旨

(独)原子力安全基盤機構(以下「JNES」という。)は、安全研究の一環として電力会社から照射済み燃料を借用して各種照射後試験を行い、試験後の燃料については試験を実施した施設で保管してきた。平成26年にJNESが原子力規制庁に統合されたことに伴い、当該事業は原子力規制庁が承継している。試験に使用した照射済み燃料等の一部は、JNES統合前から継続して日本核燃料開発(株)(以下「NFD」という。)に保管管理を依頼している。

本web会議では、照射済み燃料等の保管状態に問題がないことを確認するとともに、NFD施設における燃料保管容量や保管裕度等に関する今後の見込みについて説明を受けた。

引き続き、保管状態と併せて保管容量、裕度等の情報を共有し、意見交換していくことを確認した。

6. その他

提出資料：なし。